

大槌町教育委員会だより



こずえ 欐の梢から

けやき

子どもたちの安心・安全な通学のために 地域と学校(コミュニティ・スクール)でできることを

東日本大震災後の復興が進み、道路や建物などの建設は一段落したものの、当町では広域から子どもたちが通学しており、学校生活の充実のためには通学時の安心・安全が欠かせません。大槌町教育委員会では、関係者の協力のもと、子どもたちの安心・安全な通学のために2つの取り組みを行っています。

通学路交通安全プログラム 合同点検・合同協議

6月末の2日間、吉里吉里学園学区および大槌学園学区にて、教育委員会、各学園、道路設置者(町および県)、警察、自治会および町内会の関係者が集まり、通学路の危険な箇所について点検し、可能な対応策について協議しました。



交通保安員による登下校の見守り活動

年間を通して、平日の子どもたちの登下校の時間に合わせ、沢山地区、安渡地区および吉里吉里地区の3カ所で、計5名の交通保安員が登下校時の子どもたちを見守っています。通学時の安全確認はもちろん、子どもたちの健康や学校生活の様子などにも気を配り、温かい声かけで子どもたちに安心を届けています。さらに、各学園の先生たちも随時、子どもたちの登下校時の付き添いや安全指導を行っています。



通学路交通安全プログラムでは、主に通学路上の設備などについて点検し、設置や改修などについて協議しました。可能なものは関係機関で対応を図ることになりますが、時間や費用を要するものや、空間的な制約などで実現が困難な箇所も多く見られました。そのため、登下校の見守り活動のような、地域の皆さんの力が欠かせません。子どもたちの登下校の際は、ぜひ温かい見守りや、安全指導の声かけなどのご協力をお願いします。※点検・協議の結果は、町ホームページに掲載予定です。

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！



今年度からnoteというメディアを活用して学校行事等の情報を発信しています。ぜひご覧ください！

開始から4年目を迎えた「三陸みらい探究」 各学年の取り組みを紹介します！

大槌高校には、大槌町をフィールドにして探究的な学びを行う「三陸みらい探究」という授業があり、開始から4年目を迎えた今年度は、これまでの内容を少しずつ更新しながら活動を進めています。各学年での活動は、それぞれのテーマに基づいて行い、学年が変わっても途切れないように3年間の接続を意識した内容となっています。今回は、各学年が1学期に取り組んできた活動の様子を紹介します！

1年生:自分のテーマを見つける ～「自分プレゼンテーション」～

1年生は、自己発見や自己理解を目的とした「自分プレゼンテーション」の作成に取り組みました。プレゼンのテーマは「私が大槌高校で学ぶ理由」。生徒は約2ヶ月間をかけて、自身の経験を振り返り、大槌高校に入学した経緯や高校生活での目標について考え続けました。完成したプレゼンは、7月7日(木)に大槌学園と吉里吉里学園の9年生の前で発表しました。中高が連携したこの取り組みも今年度で4年目となりますが、今回は初めて同じ会場で実施することができ、それぞれの学校の枠を超えた交流も生まれていました。

生徒の感想

- ・プレゼンの作成を通して、自分のことを理解するいい機会になったし、高校で頑張りたいことについて考えられたのが良かったです。
- ・本番はとても緊張したけれども、自分の話を中学生のみなが真剣に聞いてくれてとても嬉しかった。発表の後、質問をし合ったり、進路の相談などができて良かったです。



2年生:自分のテーマを探究する ～「マイプロジェクト」～



2年生は、自分自身で興味のあるテーマを設定し、他者や地域を巻き込んで探究を行う「マイプロジェクト」に取り組んでいます。1学期の活動では、「テーマ探し」や「探究したい問いの設定」を行うために、本や新聞を読む機会、生徒同士で意見やアイデアを出し合う機会などを多く取り入れました。今後は、それぞれが設定したテーマや問いを、地域をフィールドにして更に深めていく予定です。



- 主なテーマ**
- ・大槌の地域コミュニティ活性化
 - ・メイクと自己肯定感の関連性
 - ・トンボの飛行能力についての観察
 - ・特撮ヒーローの教育的効果
 - ・海洋生物を守る環境づくり
 - ・スポーツアスリートのメンタル
 - ・三陸鉄道の利用者数増加
 - ・防災意識の地域別調査
 - ・虫歯を防ぐための生活習慣

3年生:探究を進路につなげる ～「アカデミックディスカッション・職業インタビュー」～

大学や短大進学を希望する生徒19名は、2年生までに探究した内容を、探究的な議論を通してより深めていくことを目的とした「アカデミックディスカッション」をオンラインで行いました。生徒それぞれが、自分のテーマに関する専門家にアポイントを取り、19名にご協力いただきました。



生徒の感想

このディスカッションは、これまで探究してきたことと照らし合わせて向き合う大切な機会となりました。進路選択や社会人になってからも活かせる話を聞いて自分の世界が広がりました。

就職や専門学校進学を希望する生徒30名は、これからの時代に求められる力を探究することを目的とし、自身の志望する職業に関わる社会人にインタビューを行いました。町内外13の事業所にご協力いただき、大槌高校の卒業生を中心とした15名に参加いただきました。



生徒の感想

仕事内容や、身に付けるべき力が、元々想像していたものよりも広いことが分かりました。実際に仕事をしている人に話を聞くことは重要だと思いました。